

教科(科目)	現代社会	単位数	3 単位	学年(学科・コース)	3 年生
使用教科書	『新版 現代社会』(実教出版)			授業形態	必修
副教材	なし				

1 科目目標

現代社会の諸問題について、政治・経済・社会などのさまざまな観点から追求し、時事的な事柄と関連させながら、現代社会に対する興味・関心を高める。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	『現代社会』を学ぶにあたって	『現代社会』に授業の進め方、学習内容、評価方法などについて理解する。	1 0	確認テスト、課題、ノート提出を実施し平常点として評価する。(通年)
5	2 現代の経済社会と国民生活	資本主義経済における企業に役割や市場の機能などについて理解する。	1 2	
6	第1章 現代の経済社会 第2章 日本経済の特質と国民生活	市場機構・景気変動・金融・財政について学習する。 戦後から現在までの日本経済の流れを学習し、その抱える問題点について学習する。	1 2	中間考査 期末考査
7		日本経済のかかえる問題点について学習する。	8	補習課題
8		欠点者補習・進学希望者補習		
9	3 現代の民主政治と日本	民主政治の基本原則と、世界のおもな政治制度を学ぶ。	1 2	
10	国憲法		1 2	中間考査
11	第1章 現代国家と民主政治	日本国憲法の成立と日本国憲法が規定する基本的人権を理解し、人権に関して憲法が直面する問題について学習する。	1 4	期末考査
12	第2章 日本国憲法の基本原理	平和主義の内容と意義を学習する。自衛隊・安全保障・国際貢献などについて学習する。	1 2	
		欠点者補習		補習課題
1	第3章 日本の政治機構と政治参加	国会・内閣・裁判所について組織・機能・国民生活との関わりを学習する。	1 3	学年末考査
2				

3 評価規準と評価方法

項目	内容	評価方法
関心・意欲・態度	現代社会の諸事情に関心を持っての授業への集中した取り組み状況と、課題等の提出状況。	授業態度、発問への応答
思考判断	学習した事項をもとに、現代社会の諸事情を分析し、理解することができるか。	確認テスト 課題の提出
技能表現	統計などの資料から、現代社会における諸問題を分析することができるか。新聞等のメディアから必要な情報を聞取ることができるか。	ノート提出 定期考査(年5回)等 上記を総合して100
知識理解	授業の内容を、きちんと身につけているか。現代社会の諸問題や諸事情を理解しているか。	点満点で評価する